

令和4年度・内航タンカー船員実態調査報告書

令和5年4月14日

全国内航タンカー海運組合

船員対策委員会

— 目 次 —

はじめに	…	1
1. 回答状況	…	2
2. 年齢構成（乗・下船中の分類）	…	4
3. 年齢別船員数及び割合の推移（10年間）	…	5
4. 総トン数・船種別平均年齢（乗船中船員）	…	6
5. 職種別平均年齢（乗・下船船員の合計）	…	9
6. 入社歴及び前職	…	10
7. 採用・退職関係	…	13
8. 海技免状保有状況	…	16
9. 船舶料理士保有状況	…	16
10. 船員不足の考察	…	17
11. 船員対策委員会からの提言	…	18

はじめに

全国内航タンカー海運組合では、船員の高齢化に伴い、若年船員の確保、船員不足への対応、関係者の理解促進に役立てることを目的に、毎年**10月1日現在**における内航タンカーに乗船中の船員及び下船中船員の年齢構成、採用・退職状況等を調査しています。(平成17年に調査開始)

令和4年度も、運送事業者(オペレーター)を經由して船主(オーナー)に調査票の提出ご協力をお願いしました。今年度も回収率を上げるべく、対象事業者船員担当者様の協力を得て提出をお願いし、コロナ禍において各社及び事務局の在宅勤務体制も昨年と同じ状況下ではありましたが、**回収率は74.4%(対象1,042隻の内、775隻の回答)**と、前年の回収率(72.7%)を上回ることができました。

回収率の内訳をみると、船型では**200G/T未満の小型船(回収率45.5%)**、船種では**特タン船(回収率56.5%)の回収率が低い**という、例年同様の傾向となり、回収率を上げていくことは課題ではありますが、コロナ禍という特殊要因の中でも7割以上の回収率が確保され、概ね実態が反映される水準は保たれたものと思われま

す。今回の調査から推計される船員総数は、**9,245名(前年度9,467名)**で前年比**222名減**となりました。これは、予備員率が減少したこと(**1.42→1.40**)、**新卒採用数に若干陰りが見えたこと(318→276名)**、**実乗員数が僅かに減少したこと(5船型で5年間平均を下回る)**、などが数値から見る原因ではありますが、背景には内航タンカー船員の不足につながる、**採用の難しさ、定着性の悪さ、他船種・他業種への流出**が顕著に現れ出したのではないかと危惧しております。

また、今回の調査による船員の**平均年齢は45.6才(前年度45.8才)**で、若干の若返りとなりました。これは、近年における各社の新卒者の採用増に伴い**若年世代が増加(30才未満割合10年で7.8%増加)**したことと、**高齢世代割合が減少(55歳以上割合10年で8.7%減少)**したことが一因ですが、この傾向とは別に、**若年層の早期退職者の増加**や**70歳以上の高齢船員への依存割合が高まっている**ことへも早急に対応が望まれます。

また、このほかにも本報告書では、組合員各社からの貴重な実態を集計した上で、数多くの統計的データとしてまとめておりますので、是非、各社・グループの船員対策等にご活用下さい。

長年にわたり内航タンカー業界を支えて来た団塊世代の船員が退職し、中堅世代を他業種から採用することが難しい現状においては、若手船員を採用し育成していかなければならないことは明白であります。このためには、令和4年4月から実施された「内航船員の働き方改革」に関連する法改正に対して、組合員各社がコンプライアンスを前提にした取り組みが可能となるよう、業界団体としてサポートを行い、荷主や行政への理解、協力につなげていきたいと思っております。

最後になりますが、本調査にご協力をいただきました、運送事業者、船主の船員担当者の方々に改めて厚くお礼を申し上げますと共に、今後とも協力下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

全国内航タンカー海運組合
船員対策委員会
委員長 内藤 吉起

1. 回答状況

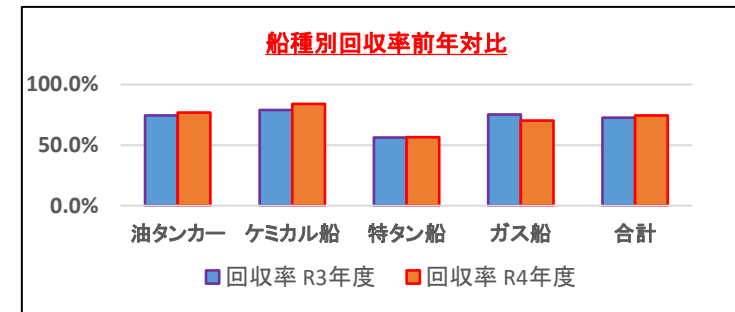
(1)対象隻数 : 1,042隻 (2)回答隻数 : 775隻 (回収率:74.4%)

※調査票の回収方法は、内航総連合会の「構造改善対策賦課金」の徴収対象船舶リストにより、運送事業者に船主分の調査票の配布回収を依頼し実施。

※回収率74.4%の内訳は下段表のとおり。(本年度も、特タン船、小型船の事業者からの提出割合が低い)

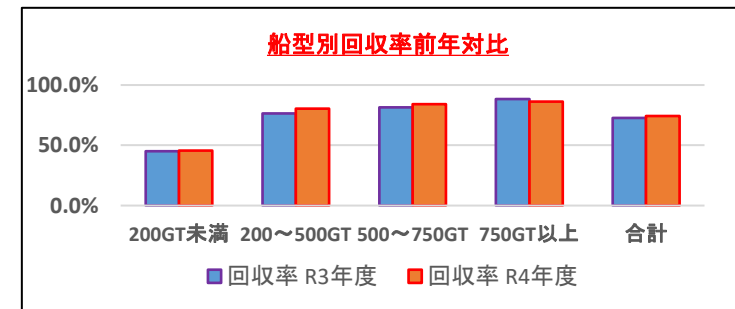
(3)船種別回答内訳

	調査対象隻数		回答隻数		回収率	
	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度
油タンカー	573	575	427	442	74.5%	76.9%
ケミカル船	190	189	150	159	78.9%	84.1%
特タン船	158	154	89	87	56.3%	56.5%
ガス船	122	124	92	87	75.4%	70.2%
合計	1,043	1,042	758	775	72.7%	74.4%



(4)船型別回答内訳

	調査対象隻数		回答隻数		回収率	
	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度
200GT未満	253	246	114	112	45.1%	45.5%
200～500GT	348	348	266	280	76.4%	80.5%
500～750GT	183	184	149	155	81.4%	84.2%
750GT以上	259	264	229	228	88.4%	86.4%
合計	1,043	1,042	758	775	72.7%	74.4%



(5)回答船員数

()は前年度船員数を示す。

合計(乗船中・下船中)7,392名(7,451名) ①乗船中の船員数5,284名(5,264名) ②下船中の船員数2,108名(2,187名)

(6)内航タンカー船員の総計(推計)

上記船員数に各船種、船型別の回収率から算出した推計船員数と予備員率を乗じた内航タンカー全船での船員数は以下の通り推計される。

合計(乗船中・下船中)9,245名(9,467名) ①乗船中の船員数6,609名(6,688名) ②下船中の船員数2,636名(2,500名)

※ 前年度より推計船員数が222名少ないのは、予備員率の減少(1.42→1.40)が一因と考えられる。

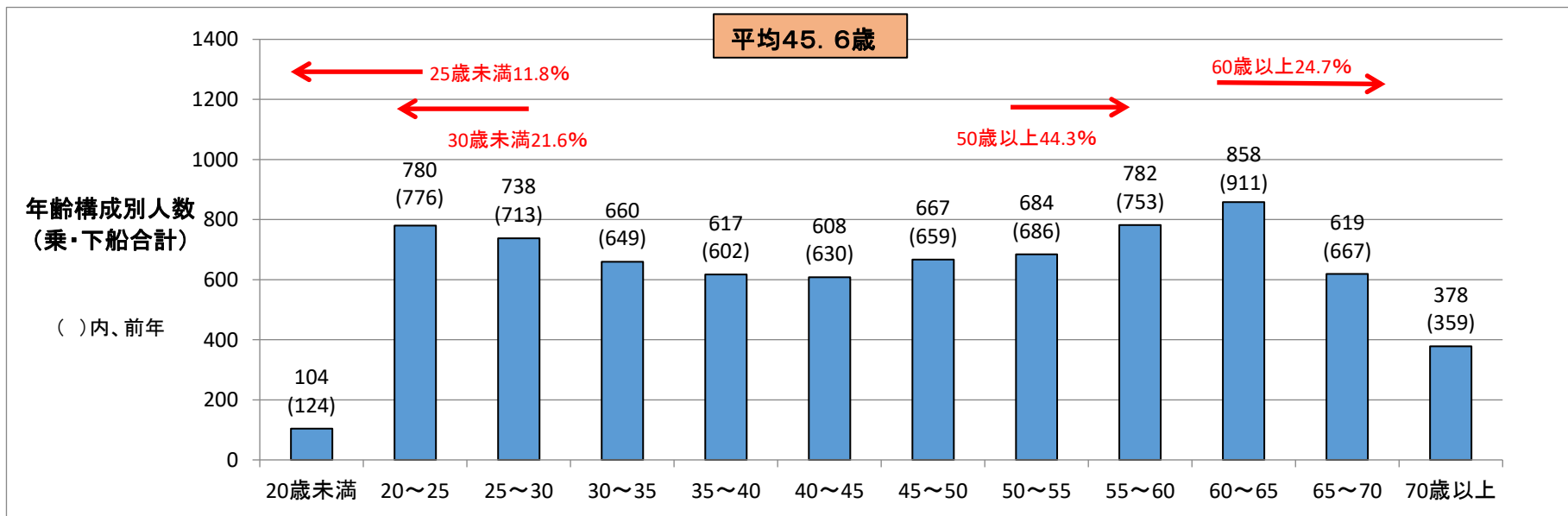
◎ 回答状況(詳細)

乗船中船員の集計	船種	船型区分 G/T	対象隻数 ①	回答隻数 ②	回収率 ③(②/①)	回答船員数 ④	平均乗員数 ④/②	推計船員数 ⑤(④/③)
乗船中船員の集計	油タンカー	200未満	195	98	50.3%	327	3.3	651
		～500未満	121	103	85.1%	505	4.9	593
		～750未満	56	50	89.3%	349	7.0	391
		～1000未満	46	43	93.5%	382	8.9	409
		～1600未満	4	2	50.0%	11	5.5	22
		～3000未満	27	22	81.5%	232	10.5	285
		3000以上	126	124	98.4%	1,441	11.6	1,464
		小計	575	442	76.9%	3,247	7.3	3,814
	ケミカル船	200未満	4	0	0.0%	0	0.0	0
		～500未満	141	120	85.1%	651	5.4	765
		～750未満	40	35	87.5%	228	6.5	261
		～1000未満	0	0	0.0%	0	0.0	0
		～1600未満	4	4	100.0%	39	9.8	39
		～3000未満	0	0	0.0%	0	0.0	0
		3000以上	0	0	0.0%	0	0.0	0
		小計	189	159	84.1%	918	5.8	1,064
	特ダ船	200未満	47	14	29.8%	54	3.9	181
		～500未満	77	49	63.6%	206	4.2	324
		～750未満	26	21	80.8%	142	6.8	176
		～1000未満	3	2	66.7%	16	8.0	24
		～1600未満	1	1	100.0%	12	12.0	12
～3000未満		0	0	0.0%	0	0.0	0	
3000以上		0	0	0.0%	0	0.0	0	
	小計	154	87	56.5%	430	4.9	717	
ガス船	200未満	0	0	0.0%	0	0.0	0	
	～500未満	9	8	88.9%	43	5.4	48	
	～750未満	62	49	79.0%	340	6.9	430	
	～1000未満	30	15	50.0%	139	9.3	278	
	～1600未満	11	7	63.6%	74	10.6	116	
	～3000未満	7	5	71.4%	56	11.2	78	
	3000以上	5	3	60.0%	37	12.3	62	
	小計	124	87	70.2%	689	7.9	1,013	
合計	200未満	246	112	45.5%	381	3.4	832	
	～500未満	348	280	80.5%	1,405	5.0	1,730	
	～750未満	184	155	84.2%	1,059	6.8	1,257	
	～1000未満	79	60	75.9%	537	9.0	711	
	～1600未満	20	14	70.0%	136	9.7	189	
	～3000未満	34	27	79.4%	288	10.7	363	
	3000以上	131	127	96.9%	1,478	11.6	1,526	
	合計	1,042	775	74.4%	5,284	6.8	6,609	
下船中船員の集計						回答船員数 ⑥	予備員率 ⑦(⑥/④+1)	推計予備員数 ⑧(⑤×⑦-⑤)
						2,108	1.40	2,636
総合計 (⑤+⑧)				回答数計	7,392	推計船員数	9,245	

2. 年齢構成(乗・下船中の分類)

(1) 年齢区分別人数

		20歳未満	20～25	25～30	30～35	35～40	40～45	45～50	50～55	55～60	60～65	65～70	70歳以上	計
乗船中	人数	75	538	525	453	456	447	489	501	565	586	418	248	5,301
	年齢計	1,403	11,886	14,172	14,425	16,866	18,721	22,981	26,099	32,223	36,313	27,941	17,990	241,020
	平均年齢	18.7	22.1	27.0	31.8	37.0	41.9	47.0	52.1	57.0	62.0	66.8	72.5	45.5
	比率	1.4%	10.1%	9.9%	8.5%	8.6%	8.4%	9.2%	9.5%	10.7%	11.1%	7.9%	4.7%	100%
下船中	人数	29	242	213	207	161	161	178	183	217	272	201	130	2,194
	年齢計	546	5,331	5,746	6,620	5,945	6,737	8,355	9,525	12,355	16,845	13,439	9,419	100,863
	平均年齢	18.8	22.0	27.0	32.0	36.9	41.8	46.9	52.0	56.9	61.9	66.9	72.5	46.0
	比率	1.3%	11.0%	9.7%	9.4%	7.3%	7.3%	8.1%	8.3%	9.9%	12.4%	9.2%	5.9%	100%
合計	人数	104	780	738	660	617	608	667	684	782	858	619	378	7,495
	年齢計	1,949	17,217	19,918	21,045	22,811	25,458	31,336	35,624	44,578	53,158	41,380	27,409	341,883
	平均年齢	18.7	22.1	27.0	31.9	37.0	41.9	47.0	52.1	57.0	62.0	66.8	72.5	45.6
	比率	1.4%	10.4%	9.8%	8.8%	8.2%	8.1%	8.9%	9.1%	10.4%	11.4%	8.3%	5.0%	100%
女性船員(上記の内数)	1	21	18	2	1	1	1	4	0	0	0	1	50	
	前年比±8名、平均年齢28.9歳、甲板職員19名(内、船長1名、一航4名)、甲板部員14名、機関職員8名(内、機長2名、一機2名)、機関部員6名、司厨員3名													
派遣船員(上記の内数)	3	17	31	23	21	21	25	28	36	54	48	46	353	
	前年比1名増、平均年齢56.2歳、甲板職員144名、甲板部員71名、機関職員89名、機関部員16名、司厨員33名													



① 全船種平均年齢(乗・下船合計)は45.6歳(前年度45.8歳)で、0.2歳若返り。

② 要因として、30歳未満の若年船員がここ数年各社の積極的な新卒採用により増加し、60歳以上船員の占める割合も僅かに減少している。

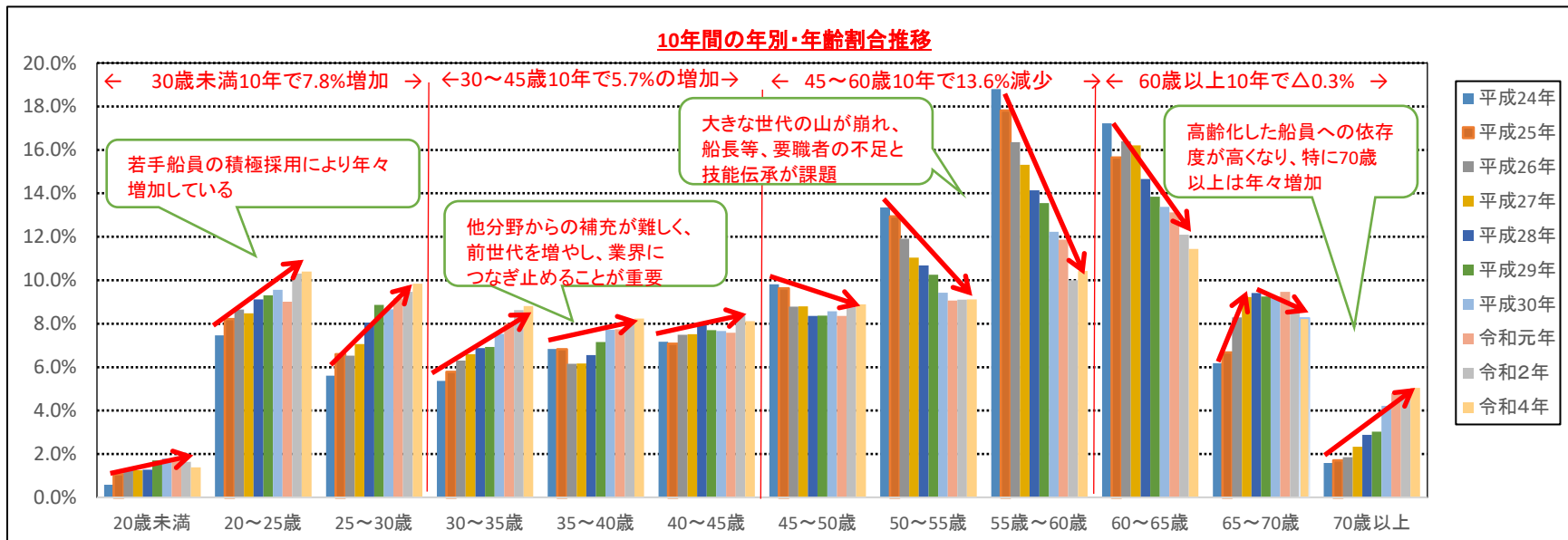
3. 年齢別船員数及び割合の推移(10年間)

(1) 年齢別船員数

	20歳未満	20～25歳	25～30歳	30～35歳	35～40歳	40～45歳	45～50歳	50～55歳	55歳～60歳	60～65歳	65～70歳	70歳以上	報告船員数
平成25年	39	495	372	356	453	475	651	885	1,246	1,142	410	105	6,629
平成26年	75	575	462	405	478	495	674	906	1,247	1,095	467	120	6,999
平成27年	85	578	436	421	411	500	587	795	1,092	1,095	554	124	6,678
平成28年	95	643	535	500	468	570	667	837	1,161	1,229	699	177	7,581
平成29年	96	686	606	517	493	600	629	803	1,063	1,103	708	217	7,521
平成30年	127	693	660	516	533	574	623	763	1,009	1,031	689	226	7,444
令和元年	135	719	651	566	580	576	644	709	919	1,006	694	317	7,516
令和2年	128	645	655	574	554	543	598	649	849	939	677	344	7,155
令和3年	124	776	713	649	602	630	659	686	753	911	667	359	7,529
令和4年	104	780	738	660	617	608	667	684	782	858	619	378	7,495
合計	1,008	6,590	5,828	5,164	5,189	5,571	6,399	7,717	10,121	10,409	6,184	2,367	72,547

(2) 年齢別船員割合

	20歳未満	20～25歳	25～30歳	30～35歳	35～40歳	40～45歳	45～50歳	50～55歳	55歳～60歳	60～65歳	65～70歳	70歳以上	合計
平成24年	0.6%	7.5%	5.6%	5.4%	6.8%	7.2%	9.8%	13.4%	18.8%	17.2%	6.2%	1.6%	100.0%
平成25年	1.1%	8.2%	6.6%	5.8%	6.8%	7.1%	9.6%	12.9%	17.8%	15.6%	6.7%	1.7%	100.0%
平成26年	1.3%	8.7%	6.5%	6.3%	6.2%	7.5%	8.8%	11.9%	16.4%	16.4%	8.3%	1.9%	100.0%
平成27年	1.3%	8.5%	7.1%	6.6%	6.2%	7.5%	8.8%	11.0%	15.3%	16.2%	9.2%	2.3%	100.0%
平成28年	1.3%	9.1%	8.1%	6.9%	6.6%	8.0%	8.4%	10.7%	14.1%	14.7%	9.4%	2.9%	100.0%
平成29年	1.7%	9.3%	8.9%	6.9%	7.2%	7.7%	8.4%	10.2%	13.6%	13.9%	9.3%	3.0%	100.0%
平成30年	1.8%	9.6%	8.7%	7.5%	7.7%	7.7%	8.6%	9.4%	12.2%	13.4%	9.2%	4.2%	100.0%
令和元年	1.8%	9.0%	9.2%	8.0%	7.7%	7.6%	8.4%	9.1%	11.9%	13.1%	9.5%	4.8%	100.0%
令和2年	1.6%	10.3%	9.5%	8.6%	8.0%	8.4%	8.8%	9.1%	10.0%	12.1%	8.9%	4.8%	100.0%
令和4年	1.4%	10.4%	9.8%	8.8%	8.2%	8.1%	8.9%	9.1%	10.4%	11.4%	8.3%	5.0%	100.0%



4. 総トン数・船種別平均年齢(乗船中船員)

(1) 総トン数別平均年齢

	3年度				30年度 平均年齢	元年度 平均年齢	2年度 平均年齢	3年度 平均年齢	4年度 平均年齢
	隻数	船員数	平均乗員	年齢計					
200未満	112	381	3.4	18,532	50.5	50.1	49.9	49.3	48.6
500未満	280	1,405	5.0	67,151	50.0	49.6	49.3	48.2	47.8
750未満	155	1,059	6.8	50,961	49.1	48.8	49.9	48.5	48.1
1000未満	60	537	9.0	23,938	47.3	45.9	46.0	45.1	44.6
1600未満	14	136	9.7	5,299	44.1	41.7	40.8	39.5	39.0
3000未満	27	288	10.7	12,329	42.0	42.5	44.1	42.5	42.8
3000以上	127	1,478	11.6	61,329	41.9	42.2	41.7	41.1	41.5
合計	775	5,284	6.8	239,539	47.6	46.6	46.6	45.5	45.3

・本年度乗船中の平均年齢は昨年ほぼ横ばいの45.3歳であったが、船型別にみると、200GT未満船の48.6歳に対して3,000GT以上船は41.5歳であり、小型船／大型船での平均年齢差約7歳と昨年(8歳)より縮まる。

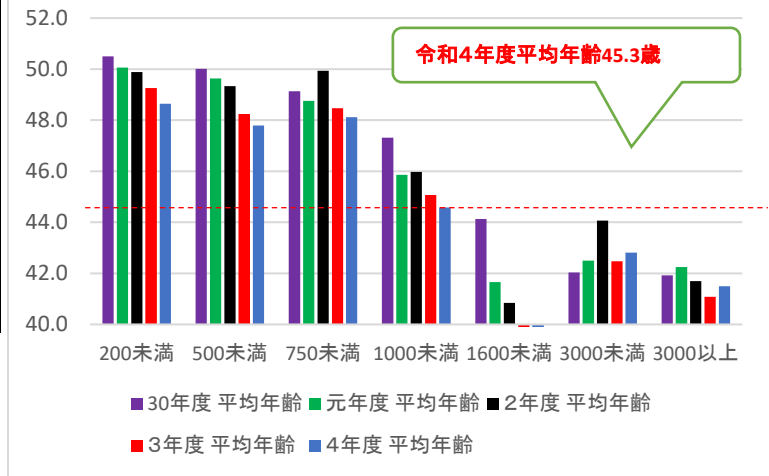
(2) 船種別平均年齢(乗船中)

	4年度				30年度 平均年齢	元年度 平均年齢	2年度 平均年齢	3年度 平均年齢	4年度 平均年齢
	隻数	船員数	平均乗員	年齢計					
油タンカー	442	3,247	7.3	144,247	45.8	45.6	45.4	44.8	44.4
ケミカル船	159	918	5.8	43,060	49.5	48.3	48.4	47.1	46.9
特タン船	87	430	4.9	20,865	50.2	50.2	49.3	48.2	48.5
ガス船	87	689	7.9	31,367	47.0	46.4	47.1	44.7	45.5
合計	775	5,284	6.8	239,539	47.6	46.6	46.6	45.5	45.3

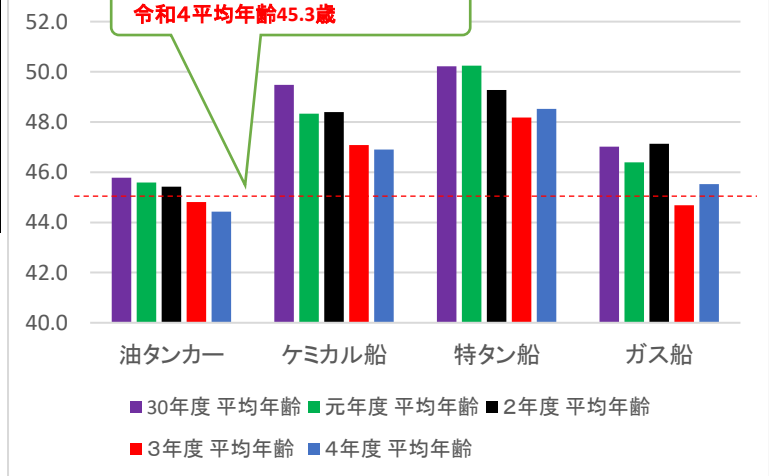
・令和4年度で平均年齢を下回るのは油タンカー(44.4歳)のみ。

・全体的に少しずつ若返っている傾向。

総トン数別平均年齢(5年間統計)(乗船中船員)



船種別平均年齢(5年間統計)(乗船中船員)



(年齢構成:船種別詳細①)

		20歳未満	20～25	25～30	30～35	35～40	40～45	45～50	50～55	55～60	60～65	65～70	70以上	計
白	200未満	0	4	13	9	5	11	9	12	14	18	11	9	115
	～500未満	0	7	14	15	13	9	10	16	17	20	15	9	145
	～750未満	4	15	27	26	19	26	29	32	28	31	32	16	285
	～1000未満	4	17	22	21	20	22	14	17	18	19	10	7	191
	～1600未満	0	3	0	1	0	1	1	3	0	2	0	0	11
	～3000未満	5	29	17	19	14	19	22	17	26	16	12	6	202
	3000以上	29	190	115	103	89	67	86	84	98	92	53	24	1,030
	人数	42	265	208	194	160	155	171	181	201	198	133	71	1,979
	年齢計	729	5,836	5,639	6,173	5,909	6,519	8,040	9,401	11,464	12,247	8,909	5,134	86,000
	平均	17.4	22.0	27.1	31.8	36.9	42.1	47.0	51.9	57.0	61.9	67.0	72.3	43.5
黒	200未満	0	9	19	22	21	23	28	24	23	15	12	16	212
	～500未満	1	17	36	27	32	36	41	47	37	37	29	20	360
	～750未満	0	3	6	4	7	6	4	2	7	11	7	7	64
	～1000未満	5	10	23	15	9	16	16	14	24	25	24	10	191
	～1600未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～3000未満	0	3	2	2	2	3	7	0	4	5	2	0	30
	3000以上	9	59	49	39	36	24	36	36	43	36	35	9	411
	人数	15	101	135	109	107	108	132	123	138	129	109	62	1,268
	年齢計	205	2,234	3,648	3,476	3,958	4,505	6,195	6,409	7,856	7,992	7,269	4,500	58,247
	平均	13.7	22.1	27.0	31.9	37.0	41.7	46.9	52.1	56.9	62.0	66.7	72.6	45.9
ケミカル	200未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～500未満	7	45	60	42	70	62	53	72	62	81	55	42	651
	～750未満	4	15	19	20	15	19	26	19	36	24	16	15	228
	～1000未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～1600未満	2	7	5	3	2	5	4	4	0	5	1	1	39
	～3000未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3000以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	13	67	84	65	87	86	83	95	98	110	72	58	918
	年齢計	131	1,497	2,249	2,064	3,219	3,606	3,895	4,957	5,580	6,838	4,807	4,217	43,060
	平均	10.1	22.3	26.8	31.8	37.0	41.9	46.9	52.2	56.9	62.2	66.8	72.7	46.9

(年齢構成:船種別詳細②)

		20歳未満	20～25	25～30	30～35	35～40	40～45	45～50	50～55	55～60	60～65	65～70	70以上	計
特タン	200未満	0	3	3	3	3	2	6	4	5	8	10	7	54
	～500未満	1	11	16	18	10	25	23	22	17	23	23	17	206
	～750未満	0	6	9	15	12	17	15	17	15	19	13	4	142
	～1000未満	0	3	2	1	2	4	0	0	3	0	0	1	16
	～1600未満	2	2	2	0	1	0	0	0	1	1	3	0	12
	～3000未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3000以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	3	25	32	37	28	48	44	43	41	51	49	29	430
	年齢計	56	551	848	1,185	1,029	1,994	2,070	2,242	2,334	3,160	3,274	2,122	20,865
	平均	18.7	22.0	26.5	32.0	36.8	41.5	47.0	52.1	56.9	62.0	66.8	73.2	48.5
ガス	200未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～500未満	0	1	3	2	2	4	6	6	6	9	1	3	43
	～750未満	6	19	21	19	43	19	31	29	52	55	31	15	340
	～1000未満	2	22	21	10	14	8	9	9	11	15	15	3	139
	～1600未満	1	23	9	5	6	9	2	3	6	8	0	2	74
	～3000未満	3	10	6	6	5	5	4	4	4	5	2	2	56
	3000以上	2	3	4	6	1	2	3	5	6	2	2	1	37
	人数	14	78	64	48	71	47	55	56	85	94	51	26	689
	年齢計	263	1,721	1,733	1,527	2,637	1,971	2,590	2,934	4,877	5,828	3,414	1,872	31,367
	平均	18.8	22.1	27.1	31.8	37.1	41.9	47.1	52.4	57.4	62.0	66.9	72.0	45.5
合計	200未満	0	16	35	34	29	36	43	40	42	41	33	32	381
	～500未満	9	81	129	104	127	136	133	163	139	170	123	91	1,405
	～750未満	14	58	82	84	96	87	105	99	138	140	99	57	1,059
	～1000未満	11	52	68	47	45	50	39	40	56	59	49	21	537
	～1600未満	5	35	16	9	9	15	7	10	7	16	4	3	136
	～3000未満	8	42	25	27	21	27	33	21	34	26	16	8	288
	3000以上	40	252	168	148	126	93	125	125	147	130	90	34	1,478
	人数	87	536	523	453	453	444	485	498	563	582	414	246	5,284
	年齢計	1,384	11,839	14,117	14,425	16,752	18,595	22,790	25,943	32,111	36,065	27,673	17,845	239,539
	平均	15.9	22.1	27.0	31.8	37.0	41.9	47.0	52.1	57.0	62.0	66.8	72.5	45.3

5. 職種別平均年齢(乗・下船船員の合計)

(1) 職種別

職種	船員数	年齢計	平均年齢
船長	1,088	60,231	55.4
一航士	959	43,682	45.5
次席一航士	200	8,656	43.3
二航士	845	37,039	43.8
三航士	288	10,570	36.7
小計	3,380	160,178	47.4
甲板長	206	10,590	51.4
甲板手	516	19,519	37.8
甲板員	469	15,338	32.7
見習い	14	389	27.8
司厨員	455	23,532	51.7
小計	1,660	69,368	41.8
機関長	1,050	55,490	52.8
一機士	685	31,161	45.5
次席一機士	51	2,207	43.3
二機士	235	8,211	34.9
三機士	24	697	29.0
小計	2,045	97,766	47.8
操機長	24	1,103	46.0
操機手	46	1,191	25.9
機関員	257	7,920	30.8
見習い	10	296	29.6
小計	337	10,510	31.2
合計	7,422	337,822	45.5

(職種別平均年齢の前年対比)

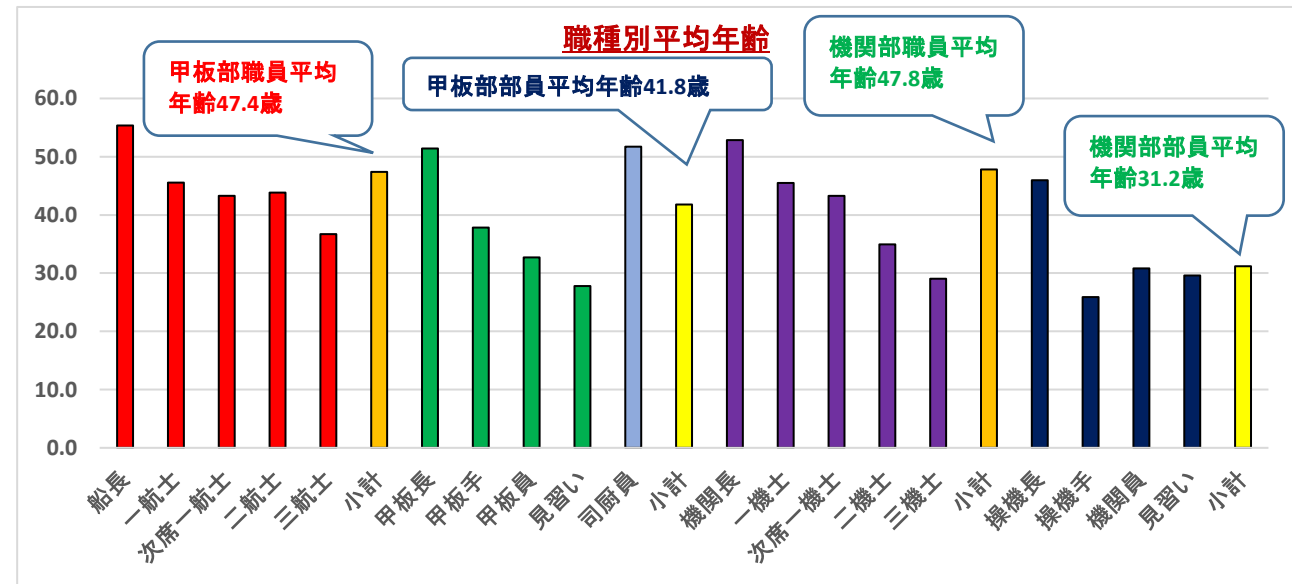
職種	R4年度	R3年度	対比
甲板部職員	47.4	47.4	0.0
部員	41.8	42.3	-0.5
機関部職員	47.8	48.0	-0.2
部員	31.2	31.4	-0.2

(2) 航海/機関別

(注)本表中、司厨員は甲板部員に参入

R4年度		船員数	年齢計	平均年齢
甲板部	職員	3,380	160,178	47.4
	部員	1,660	69,368	41.8
	小計	5,040	229,546	45.5
機関部	職員	2,045	97,766	47.8
	部員	337	10,510	31.2
	小計	2,382	108,276	45.5
合計		7,422	337,822	45.5

R3年度(参考)		船員数	年齢計	平均年齢
甲板部	職員	3,310	156,922	47.4
	部員	1,780	75,291	42.3
	小計	5,090	232,213	45.6
機関部	職員	2,052	98,432	48.0
	部員	309	9,715	31.4
	小計	2,361	108,147	45.8
合計		7,451	340,360	45.7



・令和4年度の職種毎の平均年齢は上表のとおりである。

・前年度平均年齢と比較すると、甲板部職員は±0歳、甲板部部員は△0.5歳、機関部職員は△0.2歳、機関部部員は△0.2歳。

6. 入社歴及び前職

(1) 職種別船員数及び入社歴と雇用内訳(乗・下船合計)

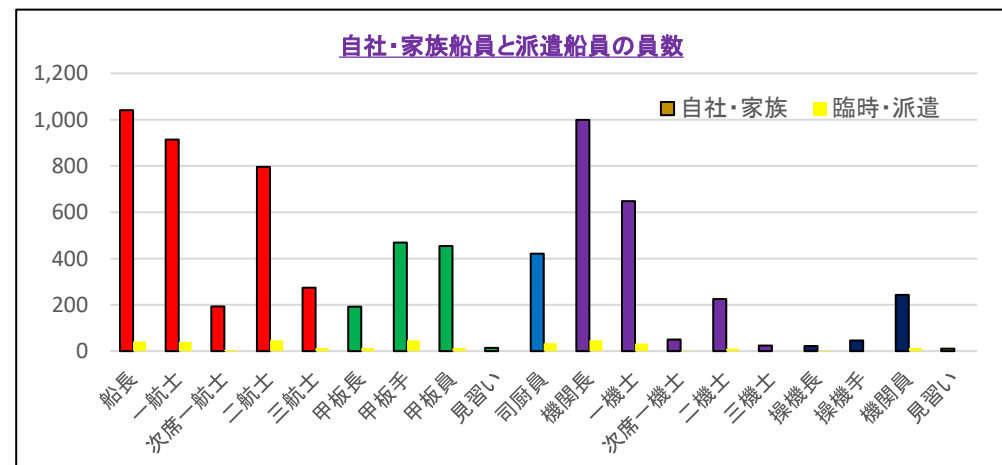
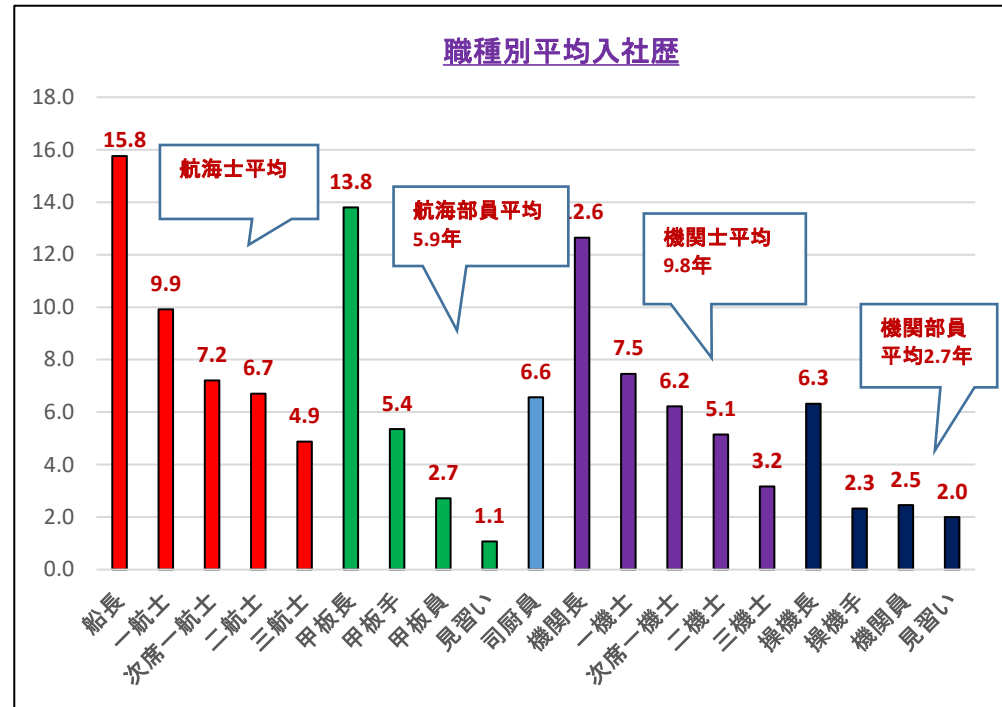
	船員数	内訳 (*1)			平均入社歴
		自社・家族	臨時・派遣	入社歴計	
船長	1,088	1,041	41	16,404	15.8
一航士	959	914	40	9,064	9.9
次席一航士	200	193	5	1,391	7.2
二航士	845	796	46	5,335	6.7
三航士	288	274	14	1,336	4.9
小計	3,380	3,218	146	33,530	10.4
甲板長	206	192	14	2,650	13.8
甲板手	516	469	46	2,511	5.4
甲板員	469	454	13	1,233	2.7
見習い	14	14	0	15	1.1
司厨員	455	421	34	2,766	6.6
小計	1,660	1,550	107	9,175	5.9
機関長	1,050	999	46	12,634	12.6
一機士	685	648	33	4,832	7.5
次席一機士	51	50	1	311	6.2
二機士	235	225	10	1,158	5.1
三機士	24	24	0	76	3.2
小計	2,045	1,946	90	19,011	9.8
操機長	24	22	2	139	6.3
操機手	46	46	0	107	2.3
機関員	257	243	14	597	2.5
見習い	10	10	0	20	2.0
小計	337	321	16	863	2.7
合計	7,422	7,035	359	62,579	8.9

(*2)

(*1): 平均入社歴は自社・家族船員のみを対象とした。

(*2): 内訳欄の数は、一部未記入(28名分)があったため合計数とは一致しない。

・自社・家族船員と臨時・派遣船員の比率は、**自社・家族95.1%**(前年度95.1%)、**臨時・派遣4.9%**(前年度4.9%)で、臨時・派遣船員割合は変化なし。



(2)職種別船員の前職(全船種合計)

職種	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン	貨物船	外航船員	漁船	その他	未記入	計
船長	100	38	412	194	39	24	58	12	95	87	29	1,088
一航士	162	25	308	148	38	24	59	0	58	115	22	959
次席一航士	31	4	55	31	11	3	20	0	12	29	4	200
二航士	138	14	240	105	29	19	97	1	53	118	31	845
三航士	89	4	80	13	7	0	27	2	7	48	11	288
小計	520	85	1,095	491	124	70	261	15	225	397	97	3,380
割合	15.4%	2.5%	32.4%	14.5%	3.7%	2.1%	7.7%	0.4%	6.7%	11.7%	2.9%	100%
甲板長	28	7	56	17	5	3	13	0	27	38	12	206
甲板手	160	19	105	7	1	1	24	1	33	133	32	516
甲板員	130	22	60	9	9	2	15	0	28	176	18	469
見習い	4	0	1	0	0	0	0	0	0	9	0	14
司厨員	13	2	115	9	14	1	20	3	8	256	14	455
小計	335	50	337	42	29	7	72	4	96	612	76	1,660
割合	20.2%	3.0%	20.3%	2.5%	1.7%	0.4%	4.3%	0.2%	5.8%	36.9%	4.6%	100.0%
機関長	86	18	358	151	48	22	83	15	107	132	30	1,050
一機士	110	16	205	84	29	7	54	3	50	103	24	685
次席一機士	3	0	12	5	4	1	4	1	6	14	1	51
二機士	92	5	42	12	2	3	14	2	9	45	9	235
三機士	16	0	3	0	0	0	1	0	1	3	0	24
小計	307	39	620	252	83	33	156	21	173	297	64	2,045
割合	15.0%	1.9%	30.3%	12.3%	4.1%	1.6%	7.6%	1.0%	8.5%	14.5%	21.5%	100%
操機長	1	0	6	4	0	0	3	0	1	7	2	24
操機手	32	0	1	0	1	0	0	0	0	7	5	46
機関員	78	18	26	13	1	0	6	1	7	104	3	257
見習い	1	0	0	0	0	0	0	0	1	8	0	10
小計	112	18	33	17	2	0	9	1	9	126	10	337
総計	1,274	192	2,085	802	238	110	498	41	503	1,432	247	7,422
割合	17.2%	2.6%	28.1%	10.8%	3.2%	1.5%	6.7%	0.6%	6.8%	19.3%	3.3%	100%

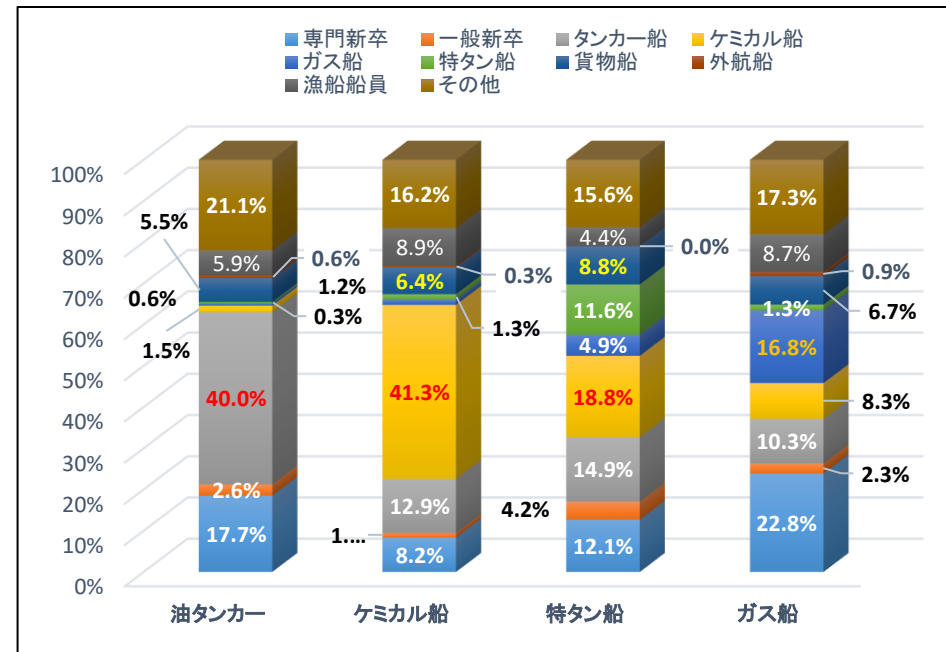
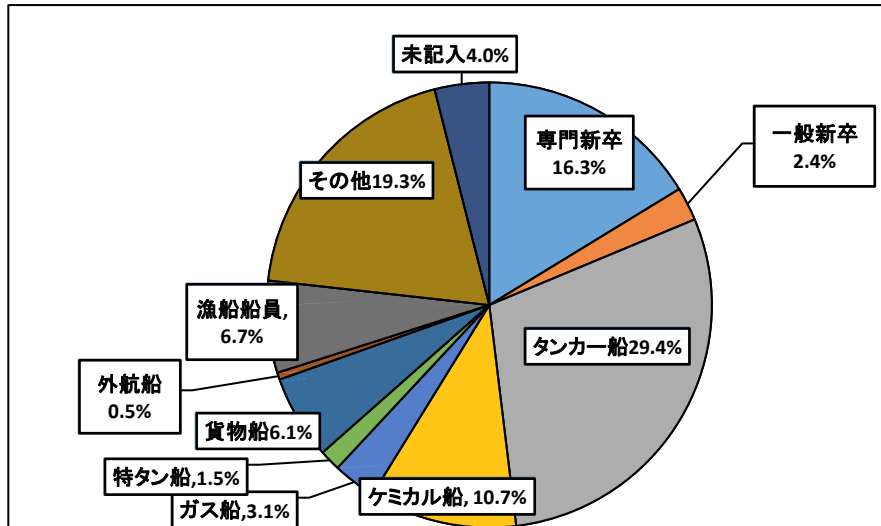
※前職は入社直前の職種を記載している。

※ 前職の上位は、タンカー経験者28.1%、その他19.3%、専門学校新卒者が17.2%、ケミカル船が10.8%、漁船が6.8%、貨物船が6.7%となっている。

(3) 船種別船員の前職(乗船中)

	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン船	貨物船	外航船	漁船船員	その他	未記入	計
油タンカー	576	85	1,298	50	18	10	179	18	192	684	137	3,247
ケミカル船	75	10	118	379	11	12	59	3	82	149	20	918
特タン船	52	18	64	81	21	50	38	0	19	67	20	430
ガス船	157	16	71	57	116	9	46	6	60	119	32	689
合計	860	129	1,551	567	166	81	322	27	353	1,019	209	5,284
比率	16.3%	2.4%	29.4%	10.7%	3.1%	1.5%	6.1%	0.5%	6.7%	19.3%	4.0%	100%

	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン船	貨物船	外航船	漁船船員	その他
油タンカー	17.7%	2.6%	40.0%	1.5%	0.6%	0.3%	5.5%	0.6%	5.9%	21.1%
ケミカル船	8.2%	1.1%	12.9%	41.3%	1.2%	1.3%	6.4%	0.3%	8.9%	16.2%
特タン船	12.1%	4.2%	14.9%	18.8%	4.9%	11.6%	8.8%	0.0%	4.4%	15.6%
ガス船	22.8%	2.3%	10.3%	8.3%	16.8%	1.3%	6.7%	0.9%	8.7%	17.3%



※油タンカー、ケミカル船は、同じ船種に戻る割合が高く、ガス船もやや低い傾向。

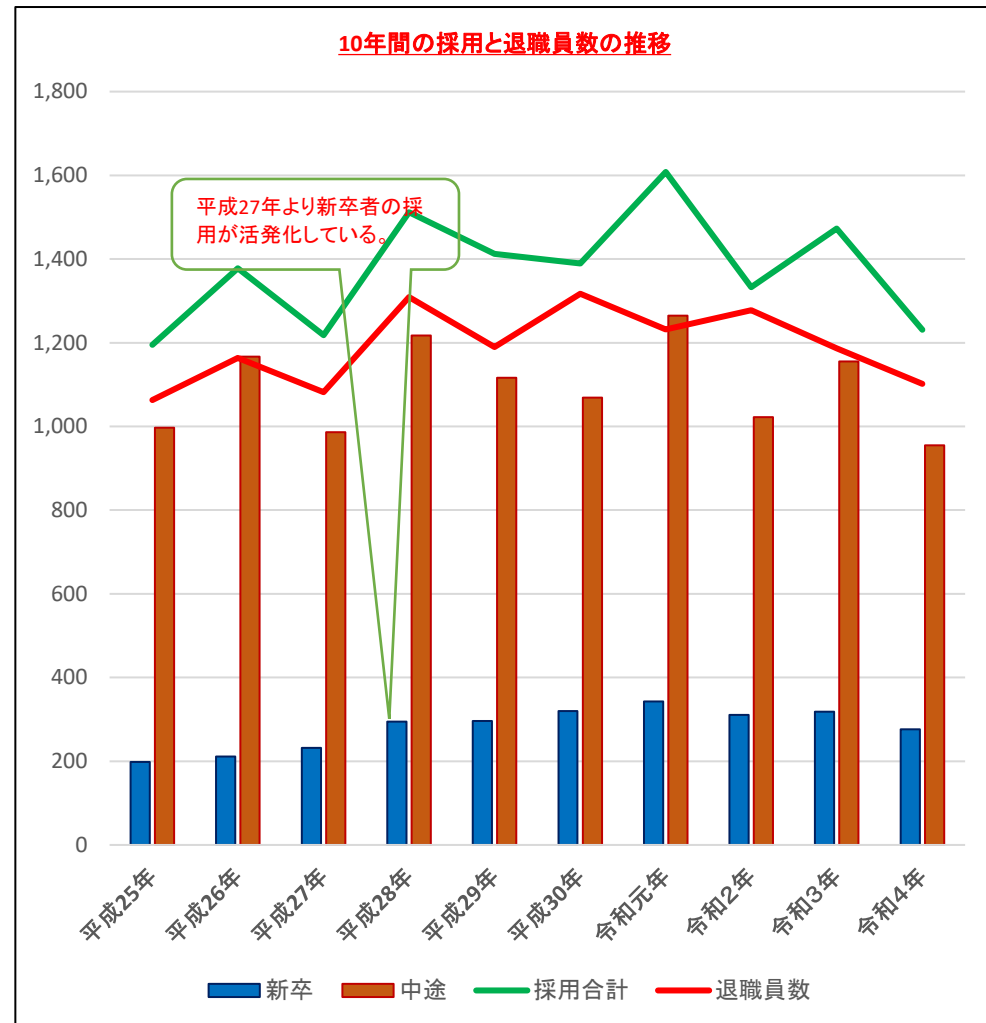
※特タン船は、ケミカル船からの転職者が、特タン船からの転職者を上回っている。

7. 採用・退職関係

(1) 過去10年間の採用及び退職船員統計表

	新卒	中途	採用合計	退職員数	採用員数 - 退職員数
平成25年	198	997	1,195	1,063	132
平成26年	211	1167	1,378	1,164	214
平成27年	232	986	1,218	1,082	136
平成28年	295	1,217	1,512	1,309	203
平成29年	296	1,116	1,412	1,190	222
平成30年	320	1,069	1,389	1,317	72
令和元年	343	1,265	1,608	1,232	376
令和2年	311	1,022	1,333	1,278	55
令和3年	318	1,155	1,473	1,187	286
令和4年	276	955	1,231	1,102	129
合計	2,800	10,949	13,749	11,924	1,825

(※) 令和4年度新卒採用数が前年比42名減少(△13%)



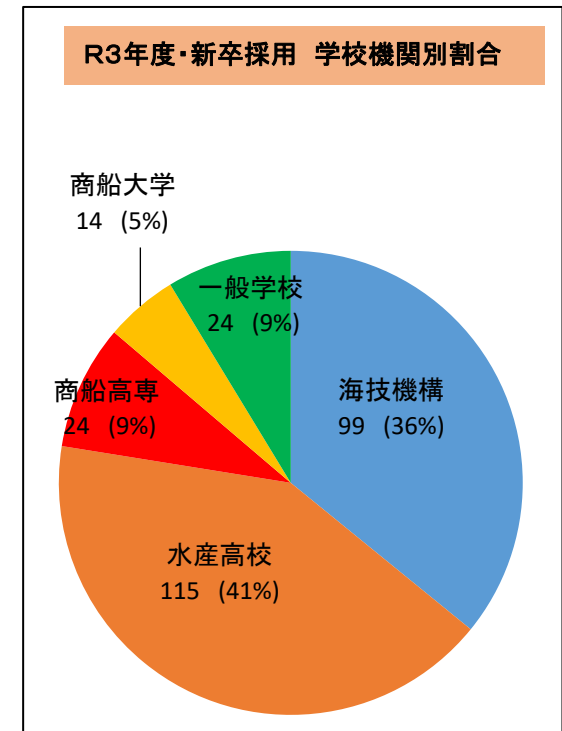
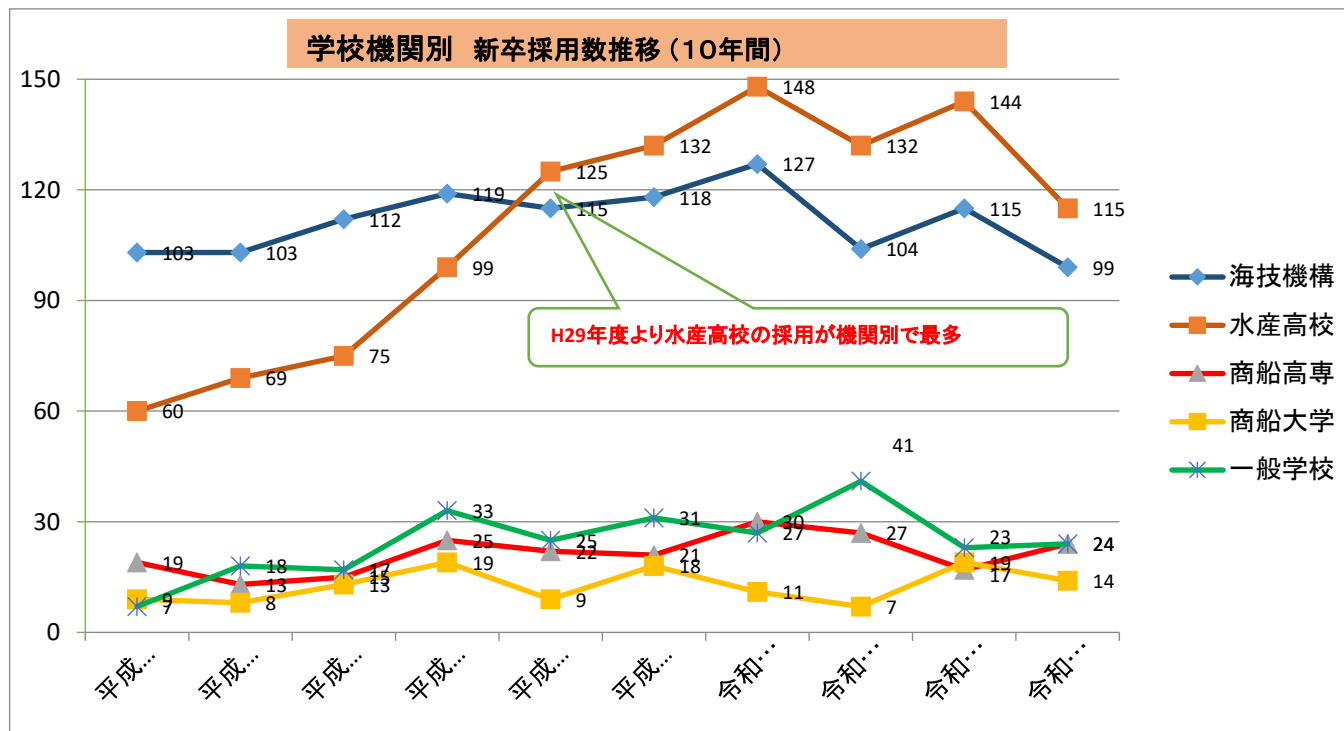
※採用人数13,749名の内、中途採用者は10,949名と全体の80.0%を占めている。

(2)新卒者採用学校別割合及び中途採用者内訳(10年間)

	新卒						中途			合計
	海技機構	水産高校	商船高専	商船大学	一般学校	小計	元船員	船員以外	小計	
平成25年	103	60	19	9	7	198	897	100	997	1,195
平成26年	103	69	13	8	18	211	1,008	159	1,167	1,378
平成27年	112	75	15	13	17	232	830	156	986	1,218
平成28年	119	99	25	19	33	295	985	232	1,217	1,512
平成29年	115	125	22	9	25	296	884	232	1,116	1,412
平成30年	118	132	21	18	31	320	872	197	1,069	1,389
令和元年	127	148	30	11	27	343	1,024	241	1,265	1,608
令和2年	104	132	27	7	41	311	833	189	1,022	1,333
令和3年	115	144	17	19	23	318	931	224	1,155	1,473
令和4年	99	115	24	14	24	276	781	174	955	1,231
合計	1,115	1,099	213	127	246	2,800	9,045	1,904	10,949	13,749
	39.8%	39.3%	7.6%	4.5%	8.8%	100.0%	82.6%	17.4%	100.0%	

(※1)教育機関別の新卒採用数は、10年間合計では、海技学校・短大と水産高校が40%前後、平成29年度より水産高校生の採用数が最多となった。

(※2)水産高校採用数115名の内訳
専攻科53名、本科62名 (R4年)

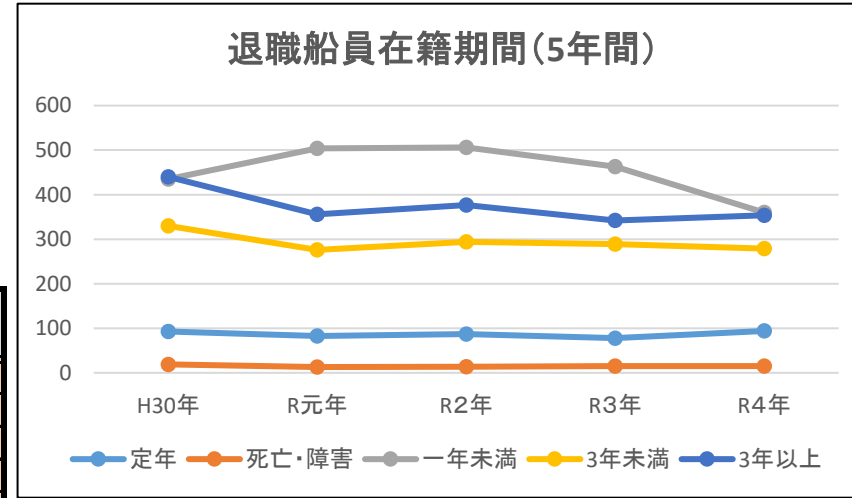


(3) 令和4年度退職状況

		職・部員合計				
		甲板	機関	その他	計	比率
定年		53	32	9	94	8.5%
死亡・障害		9	5	1	15	1.4%
在社期間	一年未満	217	114	29	360	32.7%
	3年未満	174	83	22	279	25.3%
	3年以上	224	106	24	354	32.1%
計		677	340	85	1,102	100.0%

(4) 平成30～令和4年在籍期間対比(5年間)

	職員・部員計					計	%
	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年		
定年	93	83	87	78	94	435	7.1%
死亡・障害	19	13	14	15	15	76	1.2%
一年未満	435	504	506	463	360	2,268	37.1%
3年未満	330	276	294	289	279	1,468	24.0%
3年以上	440	356	377	342	354	1,869	30.6%
計	1,317	1,232	1,278	1,187	1,102	6,116	100.0%



※ 離職数は5年間で減少傾向

(5) 新卒採用者の離職率(新規調査)

採用		離職時期・数			
時期	数	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	計
1年前	248	64	—	—	64
3年前	264	65	66	—	131
5年前	230	43	57	35	135
計	742	172	123	35	330
離職率 (1)		23%	25%	15%	63%
離職率 (2)		48%		15%	63%

※ 新卒3年未満で約半数(48%)が離職

※ 新卒5年未満で3名中2名が離職(63%)

8. 海技免状保有状況

①甲・機別保有者数

	職員		部員		職員・部員計		総計	比率
	甲板	機関	甲板	機関	甲板	機関		
一級海技士	17	23	2	2	19	25	44	0.7%
二級海技士	53	33	2	2	55	35	90	1.5%
三級海技士	959	543	129	29	1,088	572	1,660	27.3%
四級海技士	1,612	965	215	59	1,827	1,024	2,851	46.9%
五級海技士	416	262	41	5	457	267	724	11.9%
六級海技士	305	171	212	24	517	195	712	11.7%
計	3,362	1,997	601	121	3,963	2,118	6,081	100.0%

②年齢別保有数

イ)航海士

	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60以上	計
一級海技士	0	0	4	1	3	11	19
二級海技士	0	6	9	16	4	20	55
三級海技士	1	266	202	182	219	230	1,100
四級海技士	9	380	317	342	390	410	1,848
五級海技士	0	28	44	74	118	200	464
六級海技士	3	92	100	96	103	127	521
計	13	772	676	711	837	998	4,007

ロ)機関士

	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60以上	計
一級海技士	0	0	0	3	3	19	25
二級海技士	0	2	7	4	5	16	34
三級海技士	1	125	91	81	115	166	579
四級海技士	9	226	184	170	195	249	1,033
五級海技士	0	18	15	39	63	138	273
六級海技士	2	36	61	49	27	24	199
計	12	407	358	346	408	612	2,143

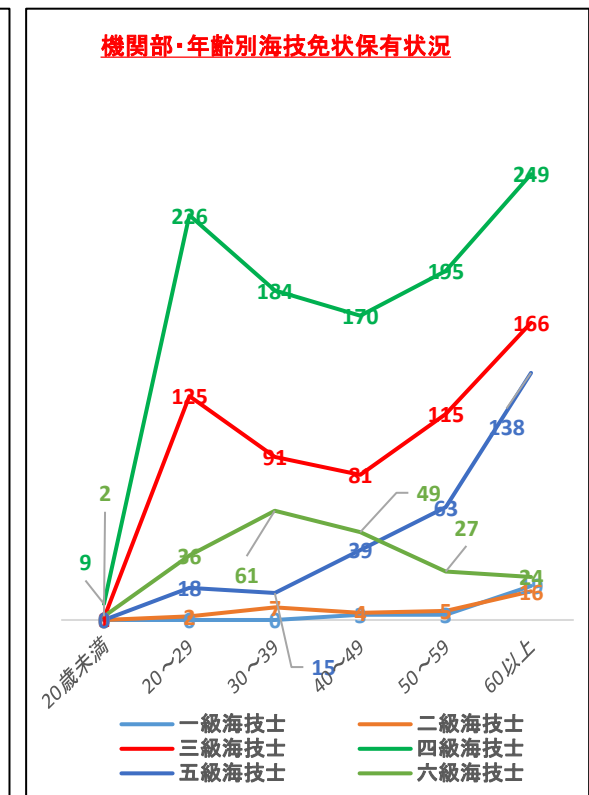
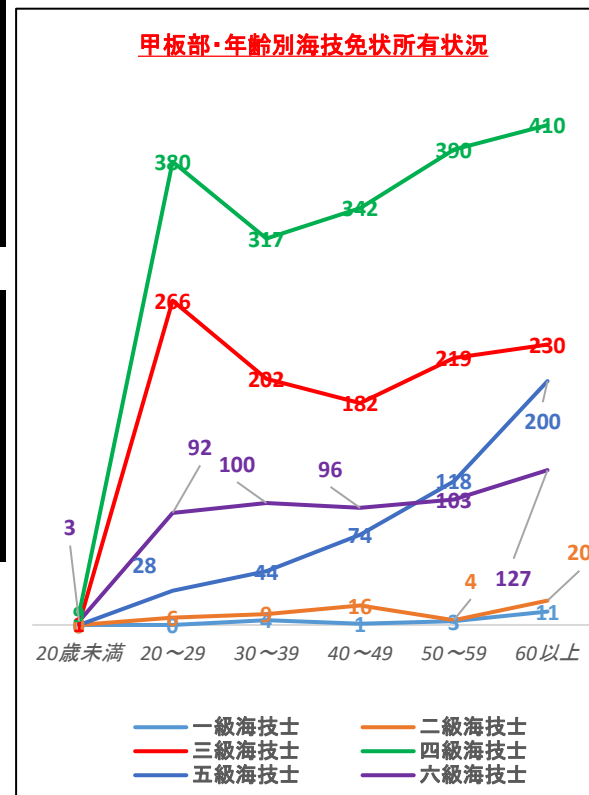
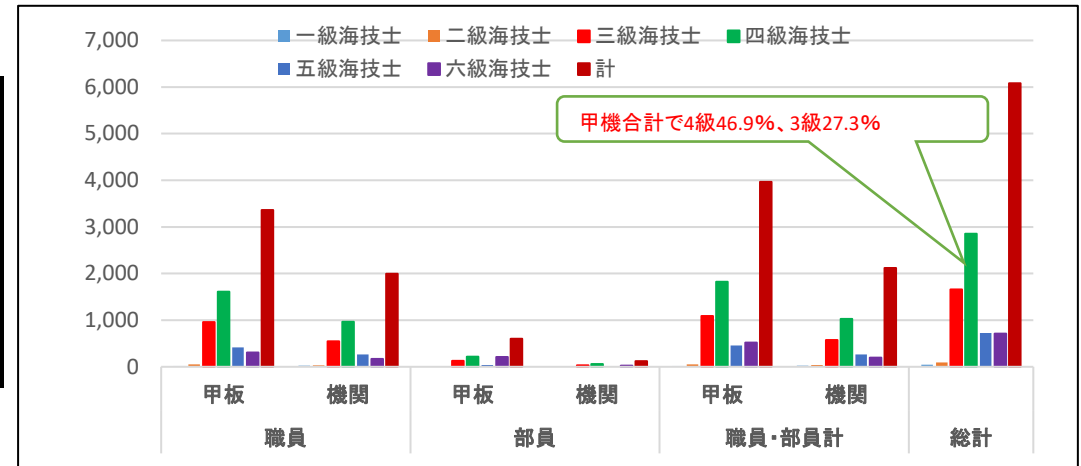
※甲板部・機関部とも4級、3級海技士が主流

※6級海技士の部員の所有状況は甲板212名に対し機関24名と少ない。

9. 船舶料理士免許保有状況

	所有	未所有	司厨員計	所有割合
乗船中	175	55	230	76.1%
下船中	93	47	140	66.4%
計	268	102	370	72.4%

※未回答、又は甲板・機関免状を記載した回答は集計除外(85名)



10. 船員不足の考察

① 船型別隻数/乗船中船員数(有効回答数)

年度	200GT未満			500GT未満			750GT未満			1000GT未満			1600GT未満			3000GT未満			3000GT以上			合計		
	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数
30	159	548	3.4	270	1,438	5.3	156	1,069	6.9	69	613	8.9	14	141	10.1	35	380	10.9	110	1,272	11.6	813	5,461	6.7
元	168	577	3.4	271	1,427	5.3	146	1,013	6.9	65	582	9.0	13	133	10.2	33	353	10.7	118	1,364	11.6	814	5,449	6.7
2	135	474	3.5	252	1,333	5.3	150	1,002	6.7	63	570	9.0	14	141	10.1	31	336	10.8	115	1,365	11.9	760	5,221	6.9
3	114	394	3.5	266	1,403	5.3	149	1,008	6.8	59	523	8.9	15	143	9.5	34	369	10.9	121	1,424	11.8	758	5,264	6.9
4	112	381	3.4	280	1,405	5.0	155	1,059	6.8	60	537	9.0	14	136	9.7	27	288	10.7	127	1,478	11.6	775	5,284	6.8
計	688	2,374	3.5	1,339	7,006	5.2	756	5,151	6.8	316	2,825	8.9	70	694	9.9	160	1,726	10.8	591	6,903	11.7	3,920	26,679	6.8

※ 令和4年度の平均乗員数は、5年間の平均よりも下回った船型が5船型と増加した。

② 予備員率

年度	乗船中	下船中	計	予備員率
30	5,461	1,983	7,444	1.36
元	5,449	2,068	7,517	1.38
2	5,221	1,934	7,155	1.37
3	5,264	2,187	7,451	1.42
4	5,284	2,108	7,392	1.40
計	26,679	10,280	36,959	1.39

※予備員率は5年間平均で1.39、4年度は1.40で、平均を上回る。

③ 臨時・派遣船員数と比率

年度	合計 船員数	自社・ 家族 船員数	臨時・ 派遣 船員数	臨時・ 派遣 比率
30	7,444	7,060	384	5.2%
元	7,517	7,142	375	5.0%
2	7,126	6,752	374	5.2%
3	7,424	7,060	364	4.9%
4	7,394	7,035	359	4.9%
計	36,905	35,049	1,856	5.0%

※臨時・派遣船員割合は5年間平均で4.9%、4年度は4.9%で、例年大きな変動がない。

④ 臨時・派遣船員の職種別内訳

年度	職員 (甲)	部員 (甲)	職員 (機)	部員 (機)	計	職員 (甲機) 割合
30	159	112	100	13	384	67.4%
元	145	113	103	14	375	66.1%
2	147	112	93	22	374	64.2%
3	144	113	87	20	364	63.5%
4	146	107	90	16	359	65.7%
計	741	557	473	85	1,856	65.4%
割合	39.9%	30.0%	25.5%	4.6%	100.0%	

※臨時・派遣船員は6割以上が職員として就労、機関に限れば約8割以上。

(参考) 新型コロナ感染推移



(NHKサイトより)

(考察)

1. 実乗員数と予備員率からの考察

船員法の改正により労働時間管理の厳格化が行われたことにより、実乗員数は増加して来ることが推測されていたが、上表の通り5船型で5年間平均の実乗員数を下回った。一方、予備員率について大きな変化はなかった。このことから、休暇は回す必要があるものの実際に乗船する船員は(派遣船員も含め)運航最小限の船員で回さざるを得なかった(=船員不足により余剰で乗せる船員の手配が困難であったのではないかと)と考察される。また、新型コロナウイルス感染が乗員率低下に影響したかどうかを考察すると、同ウイルス感染が約3年間の長期に亘り断続的に影響を及ぼしていたが、今回の調査対象が令和4年10月1日現在の実態であることから(令和4年10~11月は感染数の谷間期)、過度な影響を及ぼしたとは考えづらい。

2. 臨時・派遣船員

令和4年度は、359名の船員が派遣され、特に、甲・機職員への派遣が6割以上を占める例年同様の傾向に変化はない。ただし、派遣船員も供給が不足しているとの声は漏れ伝わって来ている。

3. 船員不足への対応

船員の働き方改革により労働時間の管理や罰則規程の法制化、さらに健康確保への配慮も強化されたことから、船員の働く時間と働き方の見直し、船の運航面の変更も考慮せざるを得ない。今後は荷物と船舶の需給バランスにもよるが、少子高齢化の背景と陸上産業の労働力不足が重なり、船員不足がより顕著に表れることも危惧され、今後1~2年は、船員問題も新たな局面への対応が必要と考察される。

11. 船員対策委員会からの提言

- (1) 将来的に内航タンカー船員が選ばれる職業となるためには、**労働時間遵守と健康確保を前提にした**仕事のあり方、休日の付与等について、船主、オペレータ、荷主がコンプライアンスを前提にした協力をを行い、「内航タンカー船員の働き方改革」を実現しなければならない。
このためには、国土交通省が設置した「安定・効率輸送協議会」及び「各製品別部会」での荷主対話の機会を最大限に活用すると共に、個社においては、荷主とオペレーター、オペレーターとオーナーが協議のもと、船員問題への前向きな取り組みが必要となる。
- (2) 特に、小型船の船員確保対策は、**業界団体のバックアップと共に、**オーナー、オペレーターの協力が必要である。
- (3) ベテラン船員の退職と新人船員の早期登用のバランスを取りつつ、技術の伝承を早急に行う必要がある。
- (4) 新卒者の積極的な採用と併行して、**若年船員の早期離職の現状を踏まえ、退職防止と業界内つなぎとめ策の検討が必要である。**
- (5) 女性船員の確保・活用をさらに進める必要がある。
- (6) 小型船等において高齢船員への依存傾向が続いている中、安全確保のため労務の見直しや軽減策に配慮する必要がある。
- (7) SOx規制による新燃料油の使用や暫定措置事業終了による建造方式の変更、中長期的なカーボンニュートラルへの対応等、業界環境も大きな変わり目を迎えている中、船舶の技術革新を今以上に進める必要がある。

以上